

環境活動レポート

- エコアクション21 -

(対象期間 2023年5月21日～2024年5月20日)



【目次】

環境方針	2
事業活動の概要	3
環境目標とその実績	4～5
今期環境活動の取組結果の評価	6
来期の主要な環境計画の内容	7
環境関連法規の遵守状況、訴訟の有無	8
代表者による評価と見直し	8

策定年月日： 2024年6月29日

ミドリ鮭川工業株式会社

エコアクション21 環境経営システム

ミドリ鮭川工業(株) 環境方針

基本理念

ミドリ鮭川工業(株)はミドリ安全グループの一員として、地球環境保全が地球全体のための重要課題であると認識し、グループの企業活動のすべての領域において地球環境の保全の向上に配慮し、行動します。

環境方針

ミドリ鮭川工業株式会社は、以下のことを約束する。

- ① 安全靴・作業靴及び関連部品の製造活動にふさわしく、その事業のもたらす環境負荷を低減するための適切な環境経営活動を行う。
- ② 環境関連の法規制及び当社が認めるその他要求事項を遵守する。
- ③ 環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善を行う。
- ④ 環境に対する汚染を予防する。
- ⑤ 継続的な改善を確かなものにするため、環境教育を行う。
- ⑥ 環境マネジメントシステムへの取組みを全従業員に対し周知させる活動を行う。
- ⑦ 具体的には、以下の方針を実行する。

(事業活動の環境管理)

- (1) 製造工程で使用するエネルギーの削減
- (2) 製造工程で使用する原材料の削減
- (3) 製造工程で排出するウレタン等廃棄物の削減
- (4) 事業所で使用する水使用量の削減
- (5) 製造工程における化学物質の適正使用と管理
- (6) 事業所で使用する事務用消耗品のグリーン購入
- (7) 事業所内の緑化推進と美化清掃活動実施

令和元年8月21日

ミドリ鮭川工業株式会社

代表取締役

三縞 浩二

事業活動の概要

Ⅱ. ミドリ鮭川工業株式会社環境活動レポート

当社は、労働安全衛生用品を生産・販売するミドリ安全グループのフットウェア生産工場としてミドリ安全より受注し、製品を納入している。当社はミドリ安全グループ環境方針に基づき、自らの事業活動に伴う環境影響を管理するとともに、自社に関わるグループの環境目的・目標に従って、継続的改善活動を行う。

2017年5月にミドリ鮭川工業株式会社に商号を変更し、現在は本社（鮭川村）と東根事業所（東根市）の2事業所で活動している。

尚、ミドリ安全はISO14001を取得し、環境管理活動を行っている。

- ① 事業所名： ミドリ鮭川工業株式会社
- | | |
|--------|-------|
| 代表取締役 | 三編 浩二 |
| 取締役工場長 | 鎌田 弘 |

- ② 所在地

本 社 : 〒999-5201 山形県最上郡鮭川村大字京塚字糴野1647番の1

東根事業所： ㊦999-3702 山形県東根市温泉町三丁目13番1号

- ③ 環境保全関係の責任者： 庄司 宏
担当者： 矢口 真之
連絡先： TEL 0233 (55) 3028
FAX 0233 (55) 3275

- #### ④事業の内容

- (1) 靴の製造
- (2) 皮革製品の製造
- (3) 前項に付帯する事業

- ## ⑤事業の規模

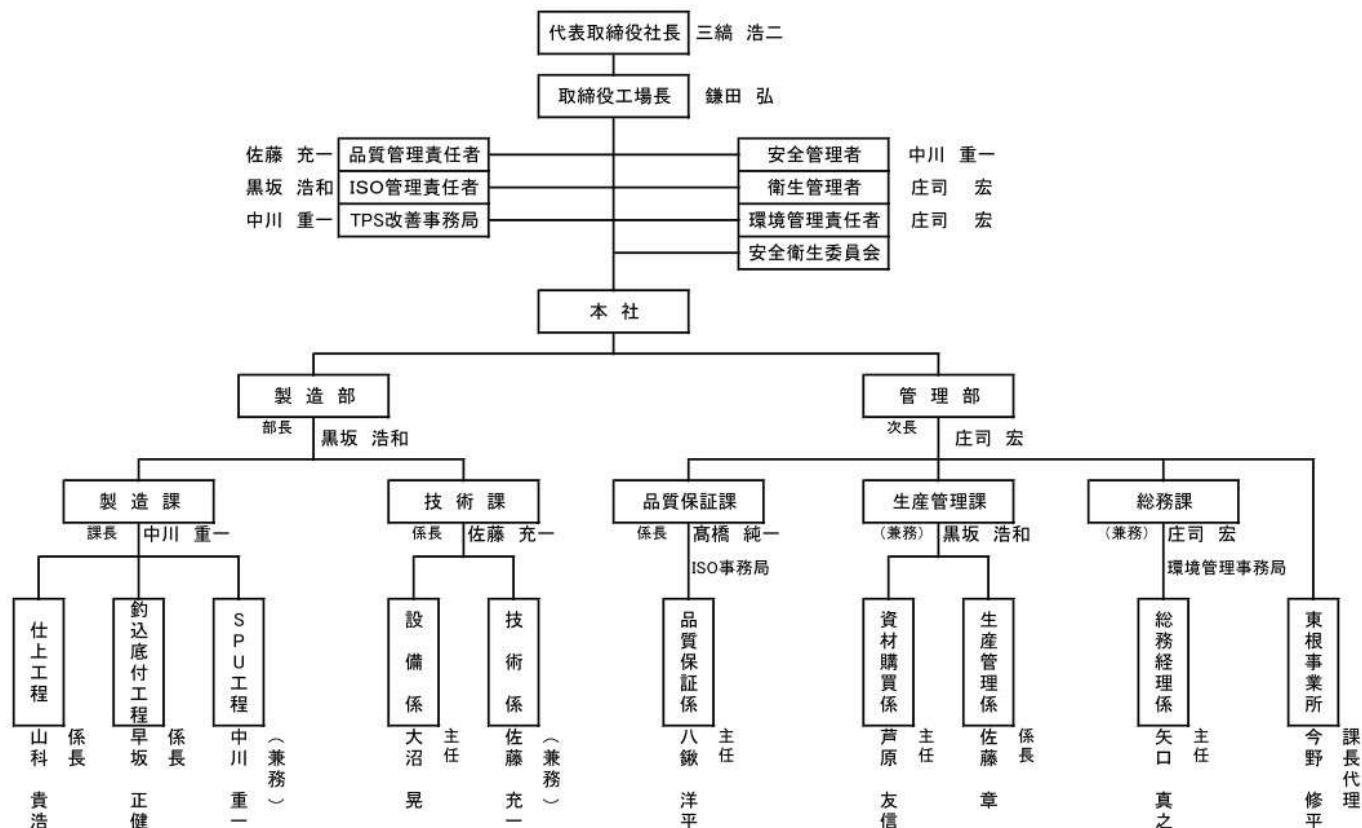
活 動 規 模	2021年度	2022年度	2023年度	単 位
従 業 員 数	98	98	98	人
床 面 積	4,377	4,377	4,377	m ²

※認証は事業活動の「全組織・全活動」が範囲となっている。

⑥環境管理組織体制

令和6年5月21日

ミドリ鮭川工業株式会社 組織図



【実施体制】 役割・責任及び権限

(i) 代表取締役社長

- ・環境管理責任者を任命し、実施体制を構築する。
- ・「EMS」の構築・運用・維持に必要な経営資源を準備する。
- ・「EMS」の構築・運用に関する情報を収集し、方針・目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要であれば是正を指示する。

(ii) 取締役工場長

- ・社長は工場長を社長代行とし、社長の責任と権限を工場長に委任する。

(iii) 環境管理責任者

- ・工場長は環境管理責任者に総務次長を任命する。
- ・工場長の委任により「EMS」を確立・実行・維持する。
- ・環境管理事務局を任命する。また、各従業員の役割分担を決定する。
- ・「EMS」の実施結果を工場長に報告し、見直しのための情報として提供する。また、是正指示があれば実施し、報告する。

(iv)環境管理事務局

- ・環境管理責任者は環境管理事務局に総務課を任命する。
- ・工場長及び環境管理責任者を補佐し、全社員による「EMS」の運用と改善を推進する。

(v)TPS 改善事務局

- ・環境管理事務局とともに、環境活動に関する是正処置及び予防処置の活動の中枢として事業所内の改善活動を推進する。

(vi)部門長

- ・自己の管理範囲内において、全社員による「EMS」の運用及び管理に責務を負い、部門内の担当者の選任・必要な教育・訓練、パフォーマンスの向上を図る。

(vii)従業員

- ・自らの役割分担を実施する。

環境目標とその実績

2019年度の本社と東根事業所の合計実績を基準として、2022年度までに3%削減する事を目標にこれまで活動を進めてきました。実績が纏まった2022年度の結果を踏まえて新たな基準とし、年1%削減を目標に2025年度までに3%の削減を目指して下記の通り目標を設定しています。

項 目	単位	基準	中長期目標		
		2022 年度 実 績	2023 年度 目 標	2024 年度 目 標	2025 年度 目 標
エネルギー総投入量	MJ	19,523,555	19,328,319	19,133,083	18,937,848
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,099,341	1,088,347	1,077,354	1,066,360
廃棄物等総排出量	kg	299,841	296,842	293,844	290,845
廃棄物等最終処分量	kg	26,689	26,422	26,155	25,888
水資源投入量（上水道）	m ³	1,866	1,847	1,828	1,810
化学物質の取扱量	kg	178,015	176,234	174,454	172,674
化学物質の排出量	kg	13,091	12,960	12,829	12,698
洗浄剤の回収率	%	38.2	38.5	38.9	39.3

※目標値の電力の二酸化炭素排出係数は環境省公表（令和6年7月19日）の2022年度実績による係数（0.477kg-co₂/kwh）に2023年度からの目標設定において見直し採用。

基準となる自社の2022年度実績も、上記環境省2022年度実績による係数に置き換えた上目標を設定している。

項 目	単 位	2023 年度		
		目 標	実 績	評 価
エネルギー投入量				
エネルギー総投入量	M J	19, 328, 319	18, 501, 020	○
温室効果ガス排出量（二酸化炭素排出量）				
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1, 088, 347	1, 044, 758	○
廃棄物等総排出量および廃棄物最終処分量				
廃棄物等総排出量	kg	296, 842	310, 018	×
廃棄物等最終処分量	kg	26, 422	20, 812	○
水資源投入量				
水資源投入量（上水道）	m ³	1, 847	1, 757	○
化学物質の排出量・移動量				
化学物質の取扱量	kg	176, 234	167, 931	○
化学物質の排出量	kg	12, 960	13, 030	×
洗浄剤回収率				
洗浄剤の回収率	%	38. 5	32. 4	×

※実績について電力の二酸化炭素排出係数は使用している東北電力の2022年度係数（0.477kg-co²/kwh）を採用。

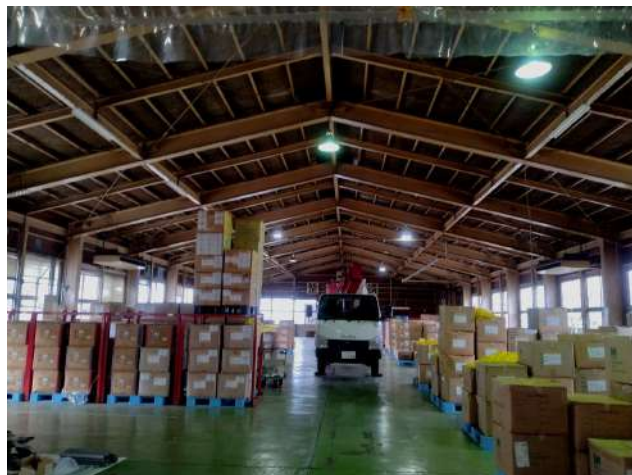
※評価については目標に対して実績が達成できた項目を「○」、達成できていない項目を「×」で表している。

●エネルギー投入量の削減

1. 照明器具のLED化による省エネの推進

東根事業所の蛍光灯及び水銀灯について全てLEDに交換を行った。(2023年11月)

実施前



実施後



2. 生産設備(メインマシン)の交換更新による省エネ化・エネルギーロス削減

生産の主軸となるマシン(3基中の1基)が老朽化した事から、撤去し最新機に交換を実施。(2023年11月)
省電力化及び、古いマシンについては動力のエアが漏れている箇所が多々あったりしたため、エネルギーのロスが減少することに期待。



今期環境活動の取組結果の評価

項 目		取組内容	評価
二酸化炭素排出量の削減	節電	夏場の水銀灯不使用	○
		事務所室内温度、夏季 28℃・冬場 20℃空調とサーキュレータとの併用で空調効率を上げる	△
		工場、東根事業所の照明をLED照明へ切替え	○
	燃料使用量削減	省エネ機器への切り替え	○
		工場内の適切な間仕切りの実施	○
廃棄物等総排出量の削減	ウレタン廃棄量の低減		○
	廃棄原料の低減		○
	離型剤の使用量削減による廃離型剤削減		△
水資源投入量の削減	定期的なメーター確認による漏水防止		○
化学物質の取扱量・排出量の削減	洗浄剤（塩化メチレン）の代替品選定		×
	洗浄剤の回収率アップ		△
環境保全意識の向上	花いっぱい運動の継続		△
※評価についての表し方			
取り組んだ結果目標を達成できた項目は「○」			
取り組み・活動はしたものの、目標の未達またはやり切ることができなかった項目は「△」			
取り組めなかった項目は「×」			
【評価が「×」となった項目について】			
●洗浄剤（塩化メチレン）の代替品選定			
過去には氷の粒子をぶつけて洗浄する装置や水での洗浄トライ等を実施したものの、洗浄スピード・価格の問題等で代替品の採用に繋がった対象品が現在まで見つからない。			

来期の主要な環境活動計画の内容

◆二酸化炭素排出量の削減

《節電》

- 空調室内温度は、夏季28℃、冬季20℃に徹底し、扇風機やサーキュレーターとの併用で空調効率を上げる
- 工場、東根事業所共に水銀灯・蛍光灯からLED照明への切替に取り組む

《燃料使用量の削減》

- 旧型の設備があれば省エネ機器への切替えを進める
- 冷暖房効率UPに繋がる適正な間仕切の実施

◆廃棄物総排出量の削減

- ウレタンの廃棄量を低減する活動を継続して実施
- 廃棄原料の低減に継続して取り組む
- 離型剤の使用量削減による活動を継続し、廃離型剤の削減に取り組む

◆水資源投入量の削減

- 定期的なメーター確認により漏水防止

◆化学物質取扱量・排出量の削減

- 洗浄剤（塩化メチレン）の代替品の選定
- 洗浄剤の回収率アップを目指す

◆環境保全意識の向上

- 花いっぱい運動の継続

環境関連法規の遵守状況、訴訟の有無

山形県環境課より水濁法に関して現地確認が行われた際、特定施設に指定されているが、公害防止管理者の選任が行われていないという指摘が過去（2020年1月）にあり、選任すべく現在取得に向けて取り組んでいる。また、2021年度から2023年度の3年間においてその他行政からの指導・指摘、近隣住民・近隣会社よりの苦情等は受けていません。また、関連法規への遵守状況については、2024年3月25日に自社において遵守状況を確認した結果、上記1件の内容以外での問題はありません。今後も遵法性の維持に取り組んでいきます。

内 容	2021 年度	2022 年度	2023 年度
法規違反の有無	1 件	1 件	1 件
訴訟の有無	無し	無し	無し

関連法規制等	規制内容	遵守状況
消防法	少量危険物、消火器届出	○
フロン排出抑制法	設置・使用・廃棄等に関する維持保全 点検、整備の記録・保存 冷媒充填・回収等の記録・保存	○
水質汚濁防止法	金型洗浄設備の点検・記録 地下水質調査及び報告 ※公害防止管理者の選任について指示に対し継続対応	○
廃棄物処理法	産業廃棄物の保管基準・処理委託基準の遵守 産業廃棄物管理票の管理	○

代表者による評価と見直し

目標は2022年度の実績比2%減とする。

9号機の導入が予定通り完了し、約半年稼働している状況で、まだまだ改善が必要なところが多い。

それらの課題を一つ一つ確実につぶして、設備更新による成果を上げるよう十分に取り組むこと。

また、今期から稼働日も6日減り、日産数が60足増える。

今まで以上に生産性の向上に取り組み、経費削減と省エネの効果につなげること。

以 上